

## 石井こうじ議会レポート



静岡市議会議員 石井孝治

令和5年度9月議会が10月11日（水）に閉会しました。  
今議会は創生静岡の代表質問で登壇し、市長の政治姿勢として、令和6年度に向けた予算編成方針や市長の考える教育、大型公共事業への取組、他都市との広域連携などについて静岡市の考えを質問しました。以下ご報告申し上げます。

### 創生静岡 令和5年9月議会 代表質問

例年9月に来年度の予算編成方針を出し、次年度予算において取り組むべき事業を示している。令和6年度の予算編成方針は9月21日付で通知されました。

難波市長にあっては、初めての当初予算編成であり、就任前から訴えてきた考えを具現化する機会である。

**Q** 令和6年度当初予算で、どのようなことを重点的に取り組んでいかれるのか。

**A** 来年度予算編成方針においては、まず本市の人口減少を深刻にとらえる必要がある。住む人が将来に安心と幸せを感じ、夢を抱き希望が持てる社会を創り、「自然と人が集まる静岡市」を実現し、そのために「社会の大きな力」を活用し「共創」による取組を進めていくことが基本的な方針である。



代表質問の様子は  
こちらから



令和6年度に重点的に取り組みたい施策は大きく4つ。

- 1つ目は、子育て・教育や健康長寿への対応
- 2つ目は、地域経済の活性化
- 3つ目は、地域の文化力の向上
- 4つ目は、災害対応力の強化

以上の4点を中心に、「安心感がある温かい社会」を実現するため、**市政変革研究会**をはじめとしたさまざまな分野での研究を踏まえ、令和6年度の当初予算編成に取り組んでいく。

(中面につづく)

### 市政変革研究会

正式名称は「社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会」。

人口減少、自然災害、経済成長、子育て・教育環境の充実などに対し、時代に即した政策・施策を立案し実行につなげるため、デジタル・トランスフォーメーション(DX)、グリーン・トランスフォーメーション(GX)、ブルー・トランスフォーメーション(BX)といった、社会経済の将来動向や最新の科学技術に精通した有識者を委員に迎えた会議。

難波市長の肝いりで設置され、成果は予算編成にも反映される。

## 市長の考える教育について

市長は本市の教育について、現在市長直轄の「市政変革研究会」において「新共助社会・子育て教育」分科会において協議されているとともに、出産・子育て・教育政策は人の幸せへの投資であるとし、伴走支援を強調されるなど、安心感の向上に努める」と表明されています。また、最近では教育と人口減少との関係や、小中学校入学前の教育にも取り組むべきと発言されています。



### Q 本市の教育振興基本計画について、どのように考えているか？

**A** 本市の教育振興基本計画は、「たくましくしなやかな子どもたちの育成」を基本理念とし、「子ども園、幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校を中心とした子どもたちを取り巻く教育に関わる取組」を計画の対象としている。一方、国の第4期教育振興基本計画は、総合的な基本方針・コンセプトに「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」や「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」といった視点が盛り込まれた。

これらの基本方針・コンセプトを踏まえた上で、労働力人口が減少

している現代において、人づくりへの積極投資を行うとともに、マルチ・ステージを可能にする為、市民の多様な人生設計に寄り添う社会システムづくりが必要であると考えている。

このようなことから、本市の第3期教育振興基本計画における計画の対象は、「子どもたち」に加え、赤ちゃんからお年寄りまで、全ての市民を対象にするべきであり、直ちに、本市の第3期教育振興基本計画を見直していく必要があると考えている。

## 海洋・地球総合ミュージアムの見直し状況

市長は海洋・地球総合ミュージアムについて15年先も魅力ある内容に進化し続けられるよう、より進化した展示内容等へ見直ししていくと発言されました。

### Q 海洋・地球総合ミュージアムの見直しと博物館機能に関する学術・研究機関との連携の進捗状況はどのようなか？

**A** 本事業の計画においては、研究機関との連携、最先端の研究動向等の収集・発信等の記述はあったが、具体的な取り組みについては、詳細かつ具体的に記述されていなかった。そのため、海洋保全意識の醸成や研究開発力への貢献などを明確にしたうえで、展示についても、魅力が将来に渡って持続できるものとなるよう、見直しを事業者へお願いした。

例えば、駿河湾の深海生物を水中ドローンで撮影した映像を利用した最先端のデジタル技術を活用した新たな展示について、事業者と協議を進めている。



## JR東静岡駅前アリーナ整備

30年以上も続いたJR東静岡駅北口でのアリーナの検討は十分すぎるほど時間をかけ、決定する段階にきています。市長はアリーナ整備について、根拠をもって迅速に決定していくと発言。

### Q アリーナ整備の事業化については、どのような観点で判断するつもりでしょうか。

**A** 本年度は、アリーナ・整備調査検討業務により、アリーナの概算費用や事業収支、経済波及効果の試算に加えて、アリーナ整備の意義などの社会的効果を整理する。

併せて、民間事業者ヒアリングを実施し、想定されるアリーナ事業費や、興行の需要、採算性をもとに、民間事業者が参画するための条件を確認し、年内には市としての判断材料を揃えたいと考えている。その上で、実現性が高まる官民連携のあり方を整理し実現しようと判断した場合には、市民や地元住民に対し、アリーナを整備する必要性について、わかりやすく説明し、社会的合意を得た上で、年度内には事業化について決定したいと考えている。

## 広域連携について

市長は行政機関同士の連携について、「静岡市政は、市政の独自性を保ちつつ、国の行政、静岡県政や県内市町行政との連携を強化することが不可欠で、市長は、国、知事や市町の首長等との信頼関係を築き、行政機関同士での『信頼と共創の行政』を進めることが必要」としています。

静岡市はしずおか中枢連携都市圏を島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町と形成、近隣市町で社会経済を維持する連携に取り組んでいます。また、南アルプスユネスコエコパークにおいては山梨県、長野県にまたがる10市町村で連携、消防においては島田市、牧之原市、吉田町、川根本町を束ね静岡市消防として広域化しています。

このように、本市が主導的に他自治体と連携することは、本市の活性化にもつながると考えます。



### Q 中部5市2町について、本市はどのような連携により魅力を高めようとしているのか。

**A** 中部5市2町は程よい広さで、各市町には特色ある食材や名所がそろい、全国的に注目される名店もあるため、その高まりつつある名声を活かし、高い潜在力を顕在化させるガストロノミーツーリズムの推進は非常に意義が高いと考えられる。

### Q 南アルプスユネスコエコパークの活性化のため、どのように取り組んでいくか。

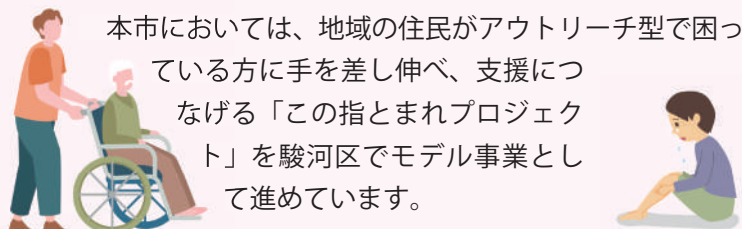
**A** これまで高山植物やライチョウの調査や保護活動、地域資源を活かした教育活動については高山植物の保全や環境教育による意識醸成につながった。今後はこれまで以上に連携を図り、自然の恩恵を生かした魅力ある地域づくりを進めていく。

### Q 葵消防署管内建物火災における消防職員殉職を受け、再発防止にどのように取り組むか。

**A** 安全を最優先する組織風土の構築に向け、災害現場におけるコミュニケーション能力向上を目的とした教育、隊員の活動の統一化を目的とした活動要領の見直しと訓練に取り組む。また、資機材・装備類の取り扱い方法を具体化したマニュアルの作成、指揮隊の管理能力を向上させるための実働的な教育と訓練等を行っている。

## 重層的支援体制整備事業について

現状の福祉支援体制は、法律ごとの縦割りが基本となっています。児童福祉法は18歳未満を対象、障害者総合支援法は障がい手帳所持者、生活困窮者自立支援法は生活困窮状態の人といった具合に相談窓口が決まっています、どの法律にも該当しない人は支援を受けられない制度の狭間があります。こういった人たちに対して、断らない相談支援の整理を行い、関係機関より支援を受けられるようになるまでサポートしていくべく、重層的支援体制の整備を進めています。



本市においては、地域の住民がアウトリーチ型で困っている方に手を差し伸べ、支援につなげる「この指とまれプロジェクト」を駿河区でモデル事業として進めています。

## Q 重層的支援体制整備事業の現状と今後の取り組みはどのようなか。

**A** 現在駿河区をモデル地区に設定し、6年度からの全市での本格実施に向けて先行して事業を実施している。複雑化・複合化した解決困難な事例について、関係機関が一堂に集まり、専門的なファシリテーターの助言・指導のもと、チーム支援における役割分担等についてプランを策定する「重層的支援会議」を、毎月、開催している。

令和6年度から、市内全域で本格実施するにあたっては、5年度の事業実績やノウハウを活かすとともに、地域の関係機関との連携をさらに強化して、困難事例の解決を一層図っていく。



## 民生委員・児童委員活動の負担軽減についてどのように取り組むか

現在本市では定員1204人に対し1152名、充足率は95.7%。政令市20市の中では3番目と低くはありませんが、自治会長などと兼務されている方も多く、慢性的になり手が足りていない状況です。

今後ますます複雑化、複雑化する自立困難事案に対して最前線で対応していくことになる民生委員・児童委員の多忙化防止・人材不足を補うことが喫緊の課題だと考えます。

### 民生委員・児童委員協力員制度

民生委員の負担軽減や精神的負担緩和のために民生委員の活動である見守り活動や周知啓発活動などを民生委員に代わり担当します。静岡県でもすでに取り入れられており、実施市町は県内20市町で101名がペアサポーターとして活動しています。

本市での導入はされていませんが、今後取り入れていくべき制度だと考えます。

## Q 民生委員・児童委員活動の負担軽減についてどのように取り組むのでしょうか。

**A** 本市では本年6月、庁内関係部局で構成される「新共助社会構築検討チーム」を発足するとともに、現職の委員や有識者などで構成される「民生委員・児童委員等の活動環境の整備に関する検討会」を設置した。

この体制の下、民生委員・児童委員の活動に関する現状や課題、活動の負担軽減の方策等について、先進自治体や静岡県の取組も参考にしながら議論している。具体的には、行政や市社協など関係機関からの依頼事項の整理や、会議や研修会などの開催方法の見直しのほか、民生委員・児童委員協力員制度の導入の是非についても検討している。

## JR 静岡駅南口駅前広場再整備計画始動 !!

静岡駅南口駅前広場は、整備から30年が経過。この間、駅南地区の再開発による高度化や交通網の開発が進む中で、ロータリー内の車両の混在や乗降スペースの不足、待合スペースや歩行者スペースなどの「ひと」のための空間不足が浮き彫りに。これらの問題点を解決し、政令市の玄関口にふさわしい空間実現の具体策を示すため、令和6年度に「静岡駅南口駅前広場再整備基本計画」を策定し、2030年代前半に供用開始を目指します。

市議会議員として、活動を始めた時から訴えてきた南口再整備がいよいよ動き出します。市民に親しまれる広場となるよう取組んでいきます！



## 市民環境教育委員会

### 学校給食、規格外農産物の活用で食品ロス削減

学校給食における持続可能な「食」と「農」を考える  
食育事業 330万円

味や栄養素には問題がないのに「曲がっている」「小さい」などの理由で市場に出荷されない規格外の市内産農産物を、学校給食で活用するため加工品開発を行う。食品ロスを削減することで、持続可能な「農」と「食」を児童生徒に伝える。



決算審査では、リニアトンネル工事をめぐる南アルプスへの環境影響評価についても議題になりました。氷河期の生き残りの高山帯の希少生物種や地域限定種など、南アルプスユネスコエコパークの特殊な生態系の保全について、複数の委員から質問が出され環境局が答弁しました。

## 観光文化経済委員会

### 地域経済の活性化を目指すための予算編成

企業立地用地開発可能性調査事業 1,000万円

企業立地用地の確保に向けて、開発適地の情報をリスト化し、公開するため、開発可能性がある土地を抽出し、現況調査を実施する。

お茶の海外輸出促進事業 500万円  
フランスにおける茶業者の継続的な営業活動を支援するため、現地での営業代行や情報発信などを実施する。



企業立地用地の調査も静岡茶のブランド化を世界で広めることも、本市の経済活性化を促進するための事業で、将来へ向けた投資となります。中長期的な視点で取組むことも重要だと考えます。

## 厚生委員会

### 静岡市保健所の取組で「救急搬送困難事案」が政令市最小に 4億5,000万円「医療扶助費」

これまで取組みに感謝申し上げ、これまでのコロナ対応を検証。今回の経験を今後の感染症対策に繋げて頂くよう要望。

### 第2子以降保育料完全無償化 2億9,500万円 (R5年度)

子育て世代の最大の要望が保育料等の経済的負担の軽減。令和5年度より3,297人分の保育料が無償化され、0～3歳児の入園申込者数が例年に比べて7.9%増加。共働き世代への大きな支援に。



※出典：静岡市「令和5年度 重点事業の概要」

### 敬老行事費（敬老会行事、敬老祝金） 2億2,600万円

「敬老会事業費」の適正な支給方法と「敬老祝金」配布方法の見直しで、地域負担の軽減と予算的確な執行を要望。

事業を検証し、市民生活が豊かになるよう政策提言をして参ります。

## 企業消防委員会

### 命に係わる上下水道・消防・救急関係について審査

### 消防ヘリコプター機体更新事業 30億円

高山岳地の救助活動や災害対応として活躍する、消防ヘリコプターも導入から20年が経ち、機体の劣化・点検整備費の増加に伴い機体の更新をすることになりました。令和8年導入予定、更なる救助活動の範囲拡大・維持費の軽減が期待されます。



昨年の台風15号災害における断水被害を受け水源検討について議論、各種災害への備えと上下水道料金に繋がる経営計画について質問しました。火災予防として地域への啓発活動や施設における防火管理者について確認。年々出動が増えている救急活動についても進言、呉服町火災事故調査報告での質問と合わせ、各現場の最前線に出動される隊員の適正配置・安全対策・業務改善によるしわ寄せがないよう要望しました。

## しずおかトピック



静岡市美術館  
SHIZUOKA CITY  
MUSEUM of ART

### NHK大河ドラマ特別展 どうする家康

2023年11月3日(金・祝)～12月13日(水)



家康の前に立ちはだかった武田信玄、織田信長、豊臣秀吉をはじめ、「徳川四天王」に代表される家臣団の肖像画、武具なども数多く展覧。家康自身が愛用した甲冑や刀剣、駿府で暮らした晩年に使用した茶道具、文房具等、手沢品の数々も紹介します。

## 消防団員募集！！

消防団員は、普段は生業に従事しながら、火災が発生すると現場に駆けつけ消火活動などを行い、地震、風水害等の大規模災害時には、救出・救助活動をはじめ避難誘導や行方不明者の捜索等に当たります。静岡市内に居住しているか、静岡市内の企業や大学等に通勤、通学している18歳以上の健康な男女であれば誰でも入団が可能です。「消防局 警防部 警防課 消防団係」迄ご連絡ください。

